

オーム社図書館だより

発行 オーム社 営業1部営業企画室 2021年7月1日

人工知能が俳句を詠む AI一茶くんの挑戦

【著者紹介】

川村 秀憲 (かわむら ひでのり)
北海道大学大学院情報科学研究院教授。博士(工学)
2000年 北海道大学大学院工学研究科博士後期課程期間短縮修了
同年 同大学助手、2006年 准教授
2016年より現職、現在に至る

山下 倫央 (やました ともひさ)
北海道大学大学院情報科学研究院准教授。博士(工学)
2002年 北海道大学大学院工学研究科博士後期課程期間短縮修了
2003年 産業技術総合研究所サイバーアシスト研究センター特別研究員
2016年 同所 人工知能研究センター 主任研究員
2017年より現職、現在に至る

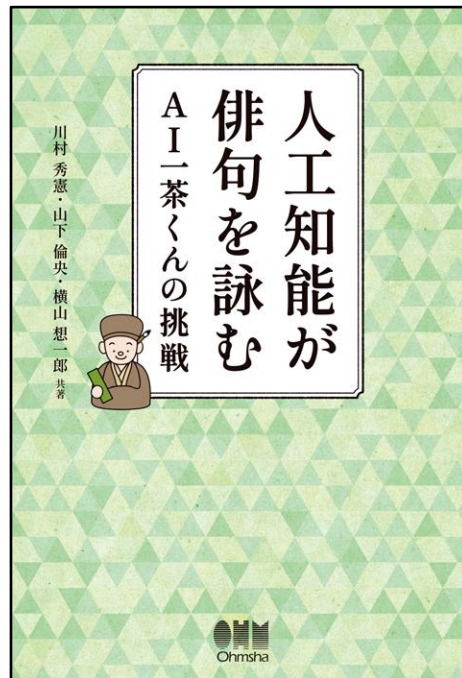
横山想一郎 (よこやま そういちろう)
北海道大学大学院情報科学研究院助教。博士(情報科学)
2016年 北海道大学大学院情報科学研究科博士後期課程期間短縮修了
同年 日本学術振興会特別研究員(PD)
2017年より現職、現在に至る

【主要目次】

- 第1章 人工知能が俳句を詠む日
- 第2章 人工知能の歴史と未来
- 第3章 人工知能を実現する技術
- 第4章 人工知能と創作
- 第5章 俳句の人工知能的解釈
- 第6章 俳句を生成する人工知能、AI一茶くんの仕組み
- 第7章 AI一茶くんの活動
- 第8章 人工知能と俳句の未来
- 付録 AI俳句百句選

2021年7月7日 発売!!

人工知能が俳句を詠む日が近づく日とは？



本書では、実際に俳句を生成する人工知能である「AI一茶くん」を研究・開発している著者らが、現在の人工知能技術の動向から創作分野における人工知能の展開、俳句をどのように人工知能に解釈させ、生成するのかを具体的に解説します。そして「AI一茶くん」の活動の紹介を通して、現在の人工知能がどこまで達成し、なにができていないのかまで見ていきます。

人工知能がどんなことをできるのか気になる方、とくに人工知能の創造性について興味のある方にピッタリ。もちろん人工知能がどんな俳句を生成するのかが気になる俳句好きの方にもわかりやすく、ていねいに解説しています。

「見送りのうしろや寂し秋の風」 松尾芭蕉
「病む人のうしろ姿や秋の風」 AI一茶くん

【川村 秀憲先生からの司書様へのメッセージ】

「人工知能に俳句を詠ませることはできますか？」

この問いかけから私達の研究は始まりました。現在、人工知能の研究はすごい速さで進んでおり、画像認識や自然言語処理では驚くような成果をあげるようになってきています。しかし、その中身はなんだか難しく、ときには怖いものを感じられるかもしれません。

そこで本書では、伝統的な俳句と最新の人工知能とを組み合わせた私達の研究を通してこれらを紹介することで、現在の人工知能の仕組みやその限界をわかりやすく説明しました。案外、人がいとも簡単に行えることが、人工知能にとってとても難しい課題だったりします。人工知能の生成した俳句と人の詠んだ俳句を比べながら、最新技術の理解を深めてもらえたらと思います。

定価 1,760円 (本体 1,600円 + 税 10%) 四六 296頁

ISBN 978-4-274-22733-2

オーム社 営業1部営業企画室 TEL03-3233-0534

〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1

※ご注文は従来通り、お取引の書店、生協、TRC様へお願い致します。

配信停止をご希望の場合は、お手数お掛け致しますがお電話をいただけるかFAXにてご連絡くださるようお願い申し上げます。